

東村山ふるさと歴史館

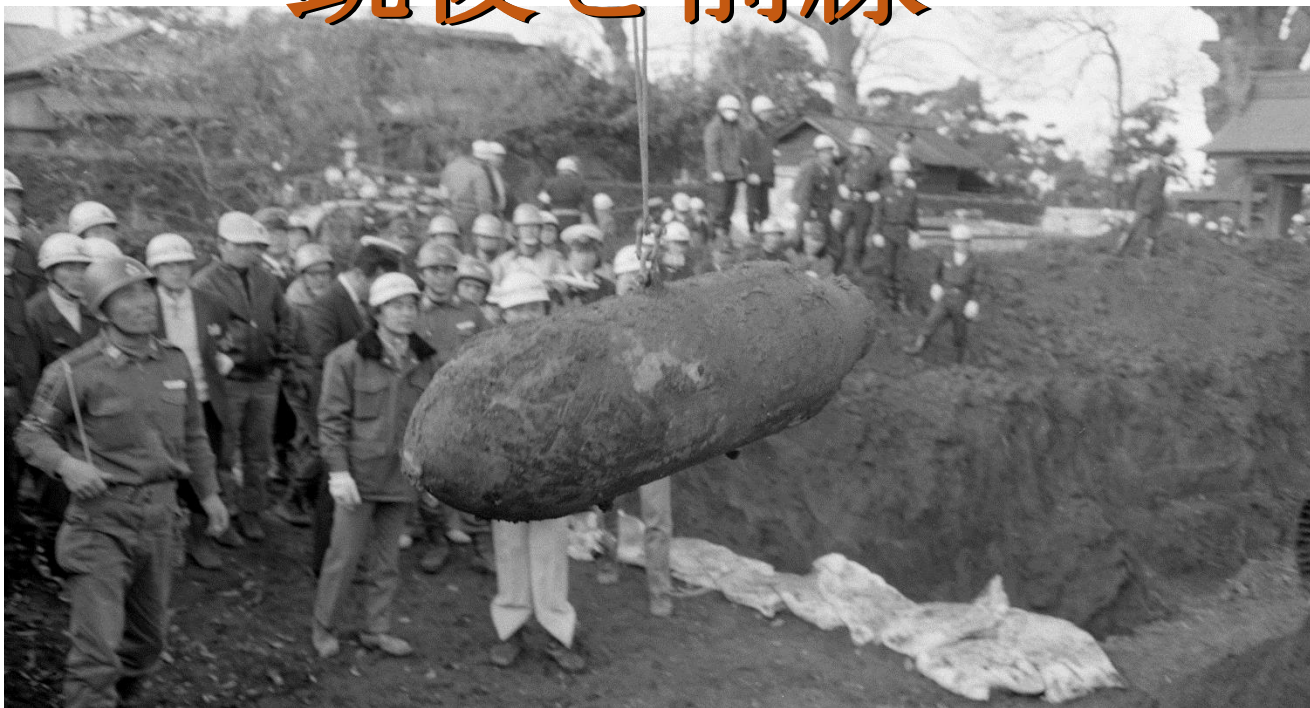
入場無料

上 出征兵士に送られた勤労奉仕（選別など）の写真（一九三八年）
下 梅岩寺学寮付近に投下された不発弾の処理の写真（一九七四年）



終戦 70 年企画展

東村山地域をめぐる 銃後と前線



会期 平成二十七年七月十一日（土）～八月三十日（日）

東村山ふるさと歴史館

住所 〒189-0021 東京都東村山市諏訪町1-6-3

電話 042-396-3800

開館時間 9:30～17:00（入館は16:30まで）

月・火曜日休館（但し7月20日は開館し、7月22日は休館）

交通案内 西武新宿線・国分寺線・西武園線「東村山駅」下車

西口より北へ徒歩8分またはグリーンバス諏訪町循環に乗り

「ふるさと歴史館」停留所下車

駐車場は3台分のため、公共交通機関をご利用ください



東村山ふるさと歴史館 終戦 70 年企画展「東村山地域をめぐる銃後と前線」

2015 年（平成 27）は第二次世界大戦が終結した 1945 年（昭和 20）から 70 年の節目にあたり、全国各地で戦争に関する展示が開催され、メディアにも戦争中のできごとが広く紹介されています。当館もこうした動きに合わせて終戦 70 年企画展を開催し、戦争について語り継いでいきます。

戦時中の東村山には、陸軍少年通信兵学校（東京陸軍少年通信兵学校）があり、その跡地は市指定旧跡になっています。また、役場が担った徴兵・動員業務に関わる「兵事関係書類」が焼却されずに残されており、これは全国でも数少ない貴重な資料です。今回の展示では「銃後」と「前線」という対立する言葉で、東村山の戦争を概観することを試みます。1938 年の国家総動員法のもと、東村山地域は近郊農村であることから、都市への食糧供給などを行なう「銃後」で、1944 年の学童疎開促進要綱などにもとづき疎開を受入れる地域のはずでした。一方で、1937 年に勃発した日中全面戦争が泥沼化し、1941 年に勃発した太平洋戦争でアメリカ・イギリスなどとも戦端が開かれると、1940 年代から東村山周辺地域には軍事関係施設が広がるようになりました。さらに、戦争末期の 1945 年に硫黄島や沖縄を失うなど戦局が悪化すると、東村山地域にも軍隊が駐屯して本土決戦に備え、空襲によって多くの住民が亡くなり、米軍の B29 爆撃機も墜落して搭乗員が戦死するという、東村山地域が「前線」となっていく厳しい時代がうかがえます。

当館は、過去にも戦争関係の企画展を行なってきましたが、その際に紹介しきれなかった収蔵資料を今回の展示では主に展示します。展示を通じ、戦争の「記憶」を「記録」にとどめていく行為の大切さを伝えていきます。

I 銃後としての東村山

疎開の受入れ／銃後の生活

II 東村山出身の兵士

出征と帰還／兵事関係書類

III 前線となった東村山

東村山の空襲／東村山地域の軍関係施設

歩兵第 503 聯隊の駐屯



陶磁器に付けられた統制番号



出征の記念杯

八国山たいけんの里ギャラリー展示

会期：8 月 1 日（土）～8 月 23 日（日）

内容：戦争末期に行なわれた村山貯水池防護工事など、八国山周辺の戦跡に関わるパネル展を行ないます。

会場：八国山たいけんの里フリーギャラリー

開館時間：9:30～17:00 月・火曜日休館

住所：東村山市野口町 3-48-1 電話：042-390-2162

交通：西武鉄道「西武園駅」から徒歩 10 分、「東村山駅」から徒歩 20 分、ふるさと歴史館から徒歩 20 分



召集通報人用電報例文



陸軍少年通信兵志願案内

企画展付随事業

○紙芝居と映画の会

日時：7 月 18 日（土）午後 2 時～4 時

内容：紙芝居「南秋津の平和観音」
映画「お茶の学童集団
疎開の記録」

演者：大井芳文氏

（東村山郷土研究会会長）

解説：高野宏峰（当館職員）

申込み：参加自由 参加費：無料

定員：80 名（先着）

○講演会「金属の供出と代用品の出現」

日時：8 月 2 日（日）午後 2 時～4 時

内容：戦争遂行のために、街から金属が消えて代用品が出現しました。戦時下の国民生活から平和を考えます。

講師：古橋研一氏（郷土史家）

参加費：200 円（資料代）

申込み：7 月 4 日（土）午前 9 時 30 分

から電子申請、電話又は直接ふるさと歴史館へ

定員：50 名（先着）

○講演会「東村山地域をめぐる銃後と前線」

日時：8 月 8 日（土）午後 2 時～4 時

内容：戦争が激しくなると東村山地域に軍事施設が広がり、軍隊が駐屯するようになりました。その変化を見ていきます。

講師：高野宏峰（当館職員）

参加費：100 円（資料代）

申込み：7 月 4 日（土）午前 9 時 30 分

から電子申請、電話又は直接ふるさと歴史館へ

定員：50 名（先着）